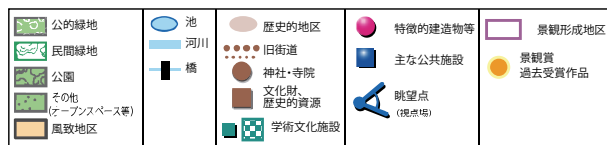
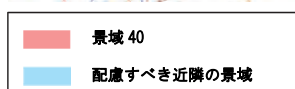


景域 40 神崎川沿い(南吹田の工業地)



● すいた市民環境会議の活動...市全域

神崎川に沿った開放的な河川空間と工場などが立地する景観

地形

市域を東西に流れる神崎川に沿って、広々とした水辺の景観が広がっています。

歴史

もともとは湿地が広がる地域で、大正期以降に神崎川沿いに工場の立地が進みました。

土地利用

神崎川沿いには、流通などの業務系施設や工場が立地し、周囲の緑化や外壁デザインの工夫などによる景観への配慮もみられます。

都市活動・暮らし

川沿いの生産流通施設に多くの就業者が働くとともに、隣接する住宅地と共存した暮らしが営まれています。天気の良い日には川沿いを散歩する人々の姿がみられ、桜の季節には神崎川沿いに立地する企業による春まつりが開かれるなど、川沿いでは様々なアクティビティが繰り広げられています。



神崎川沿いの景観



大吹橋からの眺め

対岸からの見え方にも配慮し、地域に溶け込み人々に親しまれる 潤いある景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 中の島公園の緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 建物の圧迫感を抑えたり、敷地内が雑然としないよう配慮し、快適に働ける市街地空間づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、潤いのある景観の形成に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 水辺の建物や川に架かる橋などは、水面に映えるような演出に努める。
- 照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 25, 31, 41, 42, 43, 44, 45